

2025年6月6日

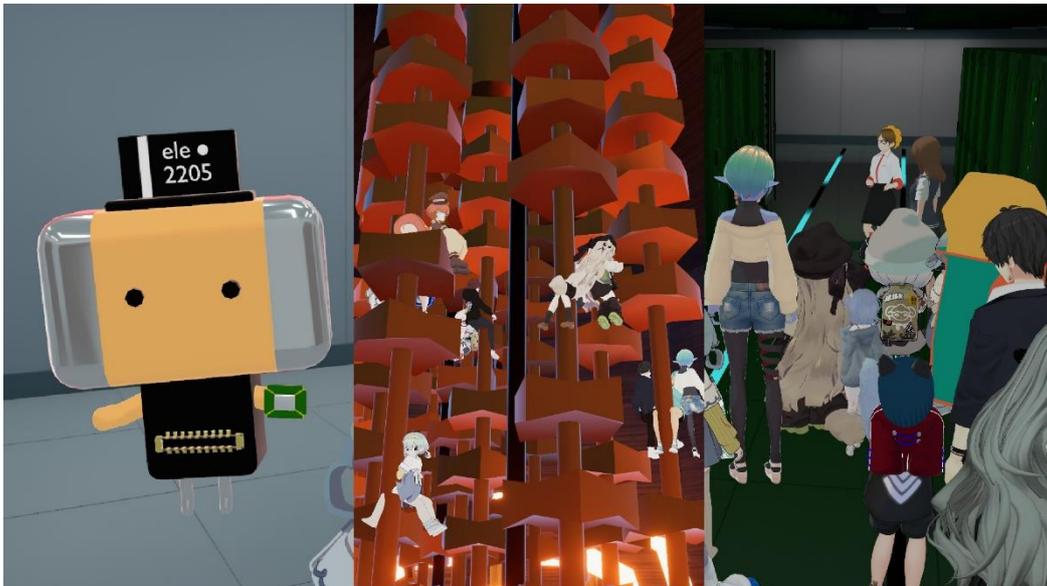
記者各位

京セラ株式会社

京セラが「マニファクチャリングワールド(シーズン1)」を公開 VRChatにて6月11日～13日にメタバースイベントを開催

京セラ株式会社（以下、京セラ）は、「切削工具の長寿命化のためのコーティング技術 PVD」「光通信用セラミックパッケージの活用」「水晶デバイス進化の歴史」というテーマで、京セラのモノづくりの世界をメタバース空間で紹介する「マニファクチャリングワールド」を、6月にシーズン1、10月にシーズン2として順次公開しますので、お知らせします。

また、2025年6月11日（水）から13日（金）まで、京セラのメタバースの世界を体験いただけるイベントを開催します。



「マニファクチャリングワールド」の様子

■「マニファクチャリングワールド」について

「マニファクチャリングワールド」は、京セラのモノづくりに焦点を当てたメタバースコンテンツです。幅広い年齢層の方々に向けて、当社の開発・設計・評価・製造に興味を持っていただきたいと考え、このたび、3つの事業部門（機械工具事業本部・半導体部品セラミック材料事業本部・電子部品事業本部）のコンテンツを用意いたしました。

なお、今回はシーズン1として6月に、シーズン2は10月にそれぞれ公開予定です。

■メタバース空間で体験できるコンテンツ概要

シーズン名	フロア名	ご紹介コンテンツ
シーズン 1 (6月公開予定)	切削工具フロア	PVD コーティング技術の紹介
	半導体セラミックパッケージフロア	光通信用パッケージの活用シーン(サーバールーム)の紹介
	電子部品フロア	腕時計におけるタイミングデバイス進化の歴史の紹介
シーズン 2 (10月公開予定)	半導体セラミックパッケージフロア	多層セラミックパッケージの製造工程の紹介
	電子部品フロア	水晶デバイス用ウエハ製造工程の紹介

■用語説明

・PVD コーティング

切削工具に対し特殊ナノ積層膜を多層構造化したコーティングをすることで、耐摩耗性・耐熱性・耐酸化性・被膜靱性を向上し、長寿命化を図ることができる技術です。金属加工におけるコストダウン・生産性向上につながります。



PVD コーティング用の装置をメタバース上に再現

・光通信用セラミックパッケージ

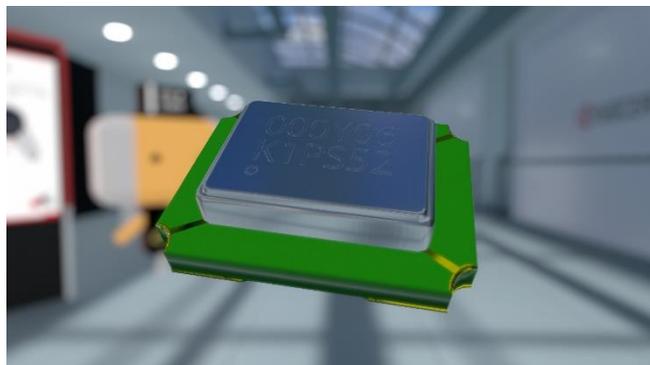
光通信ネットワークの高速大容量化に合わせて、波長可変レーザー光源・変調器・送受信器などのデバイスには、良好な高周波特性と高放熱かつ機密封止が可能なパッケージが必要となります。当社の設計技術と、熱伝導率の高い金属とセラミックスを接合する技術によってデバイスの高信頼性を実現しています。



光通信用セラミックパッケージの紹介

・タイミングデバイス

電子回路を動作させるための正確かつ安定した周波数を発信するデバイスです。当社は、水晶を使った発振器を提供しており、人口水晶の育成、水晶振動子や水晶発振器などの製品開発・製造をしています。



水晶デバイスの紹介

■メタバース体験イベントの概要

開催期間	2025年6月11日(水)～13日(金)
開始時間	20:00、21:00、22:00の3回のガイド付きツアー
プラットフォーム	VRChat [※]
ワールド名	Kyocera Fine Ceramics World
参加方法	VRChat ID : kyocera1 にフレンド申請して Join

※VRChat について

VRChat is a social platform that enables users to create and share virtual worlds, avatars, and fully-interactive experiences with other users around the world. Since its founding in 2015, the platform has grown to millions of users and features a passionate community of creators who have published tens of millions of unique pieces of content. Jump in at www.vrchat.com

VRChat is available on Meta Quest, Oculus Rift, SteamVR, PICO and VIVEPORT. The platform supports cross-play between Quest, PC Desktop and PCVR.

●報道機関からのお問い合わせ

京セラ株式会社 広報室

本社 TEL 075-604-3514 (直) / 東京 TEL 03-6364-5503 (直)